

# 気持ち上回り勝利

【長野】全国高校総合体育大会(インターハイ)テニス競技(長野県松本市の信州スカイパーク・やまびこドームなど)は2日、男女の団体1、2回戦が行われ、団体男子北海道代表の室蘭・海星学院は、2回戦スタート。きょう3日は3回戦で名経大市郎(愛知)とで長崎代表の海星に2-1で勝ち、初出場初勝利を挙

対戦する。(野田篤志)



【海星学院―海星】男子団体初戦に勝利した海星学院の選手たち。松本市信州スカイパーク・やまびこドーム

## 全国高校総体

「海星対決」を制した。初陣を飾った菊地竜平総監督は「力は拮抗していたが、勝ちたい気持ちが上回っていた」と、九州の名門に臆せず立ち向かった選手たち

▽男子団体2回戦  
海星学院2(単1-0)1海星  
○松田 8-4 池田竹(長崎)星  
○小笠原 4-8 田今里志広井

## 室蘭・海星好発進

### 男子テニス



【海星学院―海星】ダブルス、サービスエースを決める松田・池田組。松本市信州スカイパーク・やまびこドーム



をたたえた。

団体戦はシングルス2試合、ダブルス1試合。まずは初めにコートに入ったのは、2年生のダブルス松田・池田組だ。

「勝ってチームに勢いを付けたかった」と、初めから飛ばした。左足首を痛めていた松田は、7月20日に全体練習に合流したばかり。それでも「何としても大会に間に合わせたかった。痛みは気にならなかった。」

た」と、力強いサービスエースを連発。流れを引き寄せ、3ゲームをリードした。集中を切らさなかった。1ゲームを取られたが、下がらず前に出た。池田のコースを狙ったボレーがさえ、得点を重ねた。本州入り後、強豪との練習試合で「レベルアップした手応えがあった」と胸を張った。強豪が相手でも日本一の目標はブレない。8強を懸けた戦いは、菊地総監督が「上位3選手に実力差がない」という名経大市郎戦。主将の小笠原は「自分が勝つて相手にプレッシャーを掛けたい」。第2シングルスで敗れた桜田陽(3年)は「チームに迷惑を掛けた。次の試合は3年生として役目を果たしたい」と雪辱を誓った。